


よくみるって全身を使う!

考える体を育むアフタースクール

MEGALOS

KIDS AFTER SCHOOL



りんごって
なにいろ?

よくみるって全身を使う！

考える体づくり「まちをみるめ」年間プログラム

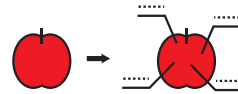
野村不動産グループでは、東京学芸大学附属世田谷小学校の木村先生の監修のもと、子供たちの街への興味や関心を育む「まちをみるめ」という小学校向けの出張授業プログラムの提供をおこなっています。街の中のさまざまなものを「みる」という行為を通じて、子供たちに観察や洞察のおもしろさを伝える、2コマ(90分)の小さな授業ですが、子供たちはもちろん、学校や先生方、保護者のからも、高い評価をいただいています。そんな「まちをみるめ」のプログラムを、もっと深くたくさんの人に広められたらと、メガロスキッズアフタースクールにて、日々の習慣をつくる年間プログラムとしての提供を開始いたします。



毎日20分！日々のあそびの中で、 さまざまな「見かた」を覚える身体の習慣づくり

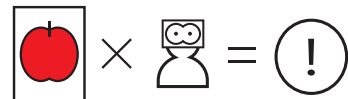
身体でみよう！観察の習慣づくり

りんごの色は何色？ ぱっと見て「赤色だな」と思うと、おもしろさが見えなくなります。
りんごってよく見ると、赤以外にもたくさんの色があります。味は？ 匂いは？ さわりごこちは？
毎日、全身を使ってものを観察し、たくさんの気づきを得る練習をします。



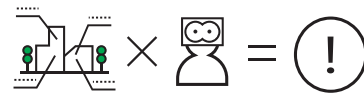
頭と心でみよう！洞察の習慣づくり

同じりんごでも、見る人の立場が変わると、見え方や印象は大きく変わります。
例えば、大工さんだったら？ お医者さんだったら？ ミュージシャンだったら？
それぞれの立場に立ったときに、どんなふうに見えるのか、洞察をおこない、発想する練習をします。



街をみよう！（長期休みのフィールドワーク）

いつも見ている自分の住む街も、よく見るとおもしろいことばかり。
危ないところはないかな？ 困っている人はいるかな？ もっとたのしくできそうな場所はあるかな？
アフタースクールで培った「みるめ」を持って、街をみて考えるフィールドワークをおこないます。



保護者のみなさま

技術の進化や気候の変動など、予測の効かない「VUCA」と呼ばれる時代がやってきます。そんな社会で活躍するには、目の前の現象や環境をフラットに把握し、それらに対応していく柔軟な発想力や行動力が必要とされます。アフタースクールをご利用いただくお子さまの観察する力や洞察する力、論理的に理解し思考する力を「まちをみるめ」を通じて育てたいと思います。